

美しい山・川・海 人が躍動する 交流と共生のまち

広報  
ふるさと

# 香美

1  
月号 No. 94  
平成 25 年 (2013)



【写真】

## － みんなで、ヨイショ!! －

### 香住幼稚園もちつき大会

来年度 2 学期から新しい園舎に移転する香住幼稚園（宮口和恵園長、47 人）の園児たちが昨年 12 月 7 日、現在の園舎で最後となるもちつき大会を行いました。

ついたもちは計 6 うす。「ヨイショ」の掛け声に合わせて、交代できねを振るった園児たち。さて、だれが一番上手につけたかな。

## 今月の主な内容 (Contents)

- 2 まちのうごき  
年頭のごあいさつ
- 4 まちからのお知らせ  
人権啓発作品表彰式、人権講演会を開催  
にこにこ香美ネット発足から 1 年  
役場各課などからののお知らせ ほか
- 10 まちのできごと
- 12 ふるさとの誇りを訪ねて  
(別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)

# 新年あけましておめでとうございませす



香美町長 長瀬 幸夫

25年ぶり2人目となるノーベル医学生理学賞を受賞した山中伸弥<sup>ゆま</sup>京都大学教授など、世界で活躍する日本人の目覚ましい活躍に胸が躍る1年となりました。

その一方で、世界的な景気の低迷が国内においても消費の冷え込みや雇用不安を生んでいます。特に地方では、経済・財政基盤の弱さに加え、少子高齢化や人口減少も重なり、本町を含む地方自治体を取り巻く環境は以前にも増して厳しい状況となっています。また、一昨年の東日本大震災に端を発する原子力発電所の停止などでエネルギー問題も顕在化し、昨夏は皆様にも節電などで多大なご協力をいただきました。

こうした問題は、今後の日本、今後の地方の在り方に対して大きな課題を投げかけています。本町としましても、次代を担う子どもたちへ課題を先送りすることなく、さまざまな事柄を喫緊の課題として捉え、解決に向けて皆様と協働してまちづくりを進める必要があります。しかし、こうした問題を「嵐の中への船出」として考えるのではなく、地方がその身の丈に合った、そして地に足のついた社会を創るチャンスとして捉えるべきだと考えて、そのためにも国内外の情勢を見定め、職員ともども一丸となつてまい進する所存です。

さて、合併8年目で第2期町政の最終年度となった昨年は、3月に策定した香美町総合計画の後期基本計画を基本とし、過疎地域自立促進計画および第2期行財政改革大綱に基づき実施計画により「創造と活力あるまちづくり」を着実に進めるため、そして、皆様のニーズをしっかりと把握する中で、必要な事業の選択と集中を図り、皆様が安心して暮らし、地域の活性化につながるよう多くの取り組みを進めました。

産業振興の面では、町内の地域資源を最大限に生かした産業振興を図るため、産業団体の連携を強化するとともに、1次産業の農林水産業と2次産業の製造・販売業、3次産業の観光業を有機的に結合させて6次産業化の取り組みを進めようと、町内産品を活用した新たな特産品づくりに対し助成制度などを設けて推進をしてきたところです。

こうした取り組みが結実するにはまだ時間が掛かります。現在、6次産業化に取り組んでいる各種団体や地域には大いに期待するとともに、今後も町内に新しく大きな「可能性」という花を咲かせ、それが本町のシンボルとなるように「耕し、種をまき、育てる」取り組みを皆様とともに進めていきたいと考えています。

子育て支援の面では、子どもたちが健やかに産まれ育つよう、妊婦健康診査や特定不妊

町民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えになられたことと心からお喜び申し上げます。また、旧年中は町政推進にあたり、各分野において多大なるご理解とご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、7月に世界各国から多くの人々が集う中でロンドンオリンピックが開催されました。さまざまな競技において繰り広げられた各国選手の躍動感、ひたむきに競技に打ち込むその姿、なにより日本人選手の活躍に多くの皆様が感動を覚えられたのではないのでしょうか。また、再生医療や新薬の開発などに大きな可能性を持つ人工多能性幹細胞（iPS細胞）の研究・開発で



治療費への助成、入院・通院にかかる医療費の無料化を小学3年生まで拡充したほか、小学4年生から中学3年生までの児童・生徒の入院に係る医療費の全額助成を行い、子育てにかかる経費の軽減を図りました。また、働きながら子育てを行う家庭の負担を減らそうと、保育園の保育料を一部見直して軽減しました。そして、安心・安全な教育環境づくりとして平成23年度から整備を進めてきた香住小学校の新校舎が8月に完成し、2学期から子どもたちが新たな学び舎での生活をスタートしました。

また、皆様の生命・財産を守るために必要不可欠となる安心・安全なまちづくりの面では、災害時の迅速・的確な指揮系統を確立するために、役場総務課内に防災安全室を設置したほか、平成23年11月に発足した香美町高齢者等見守りネットワーク（ここに香美会福祉協議会が中心となつて作成いただいた福祉・防災マップの更新を行いました）。

そして、生活に欠くことのできない安全な水を安定的に供給するために、平成22年度から整備を進めていた香住区の森浄水場が11月に完成・供用開始したほか、蘇武トンネルからの湧水を活用した村岡浄水場の整備にも着手し、本年秋の完成を予定しています。

迎えます平成25年度は第3期市政のスタートの年となるとともに、第2次行財政改革大綱の最終年度でもあります。こうした節目の年度を迎えるにあたり、これまでの町政全般を客観的に、そして真摯に評価するとともに、

皆様がふるさと香美町を誇りにし「この町に生まれよかつた」。この町に住んでいてよかつた」と思っていただけけるよう、次の点について重点的に取り組みます。

①協働のまちづくりの推進では、その基本理念の浸透に努めるためにさまざまな取り組みを行います。また「但馬・理想の都の祭典」から20年の節目を迎える平成26年度に開催する「夢但馬2014」は、公民協働で但馬地域を創生しようとする県のプロジェクトですが、本町でもその準備・協力を通して協働のまちづくりを深化させていきたいと考えています。

②子育て支援対策では、子育て支援計画の策定に着手し、今後の幼稚園と保育園の在り方について検討を図ります。

③産業振興対策では、6次産業化をさらに推進するとともに、バイオマスタウン構想を策定して環境に配慮したまちづくりや産業活性化による雇用の創出を進めるほか、海の文化館のリニューアルを行い、山陰海岸ジオパークの情報発信を進めます。

④教育環境整備では、昨年着手した香住幼稚園の改築と合わせ、村岡小学校の耐震化に伴う改修および村岡幼稚園の改築を行い、学校施設の耐震化をさらに進めるとともに、皆様の教育環境への考え方をご教示いただくために、再度のアンケート調査や説明会を通して意見集約を行い、今後の学校教育の在り方を検討します。

また、平成25年度から防災行政無線、北但広域ごみ処理施設、但馬こうのとり周産期医療センターなどの整備が本格化します。こう

した施策を進める上で基本となる町の財政状況ですが、ご心配をお掛けしておりました実質公債費比率は、平成23年度決算で20・7%と前年度を2・1ポイント下回り、財政の健全化を確実に進めています。しかし、今後は合併算定替制度に基づき地方交付税が段階的に減額されますので、引き続き行財政改革に取り組みながら事業の選択と集中に努め、まちづくりを進めていきます。

終わりになりましたが、本年は巳（蛇）年です。生命力が強く、脱皮を繰り返すことから再生のシンボルとされ、受けた恩を忘れず皆様との連携、協働をさらに深めながら、力強い一歩を進めることができるよう、また、さまざまな機会にいただいたご指導やご鞭撻に報いることができるよう、本年も全力で町政に取り組んでいく所存ですので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして幸多き素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



# 人権啓発作品表彰式・人権講演会を開催

●問い合わせ先 役場町民課

昭和23(1948)12月の「世界人権宣言」を記念して翌年から始まった人権週間も昨年12月で64回目を迎えました。

これに併せ、全国各地でさまざまな人権啓発関連の催しが行われましたが、本町でも人権尊重の啓発活動を推進しようと昨年12月9日、香住区中央公民館で人権講演会が行われ、人権問題について認識を深めようと多くの皆さんが参加しました。

## みんなで築こう「人権の世紀」 ～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～



▲長瀬町長から表彰状を授与される受賞者

### 人権啓発作品表彰式

講演会に先立ち行われた人権啓発作品表彰式では、昨年募集したポスター、標語、作文について、各部門の入選作品の代表者に長瀬町長が表彰状を贈りました。併せて、第32回全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会伯馬地区予選入賞者の表彰状の伝達も行われました。これらの作品は「人権啓発作品集」にまとめ、3月に全世帯や関係機関などにお届けする予定です。

### ◇人権啓発作品入選者(順不同・敬称略)

#### 【ポスターの部】

松岡 怜奈(香住小1年)、裏戸 槇子(奥佐津小6年)、神田 侑汰(佐津小6年)、友田 柚葉(柴山小4年)、松井 理紗(長井小6年)、奥田 慧士(余部小2年)、西岡 蒼生(村岡小6年)、中村 優月(兎塚小2年)、北村 龍翔(射添小3年)、水間 美花(小代小5年)、千足 南夕子(香住一中1年)、松江 美穂(香住二中3年)、古川 百華(村岡中2年)、田野 杏奈(小代中2年)

#### 【標語の部】

竹中 陽菜(香住小1年)、田中 龍之介(奥佐津小5年)、嶋田 八雲(佐津小4年)、藤原 さくら(柴山小5年)、橋下 ななせ(長井小6年)、川本 真由(余部小5年)、今岡 功貴(村岡小1年)、福井 峻(兎塚小2年)、宅見



### 人権は人を思いやる心から始まる

山本 健治氏

山本さんは、昭和18(1943)年12月生まれの69歳。民間勤務を経て大阪府高槻市議

涼花(射添小6年)、明保能 弘翔(小代小6年)、山本 結貴(香住一中1年)、田中美咲(香住二中2年)、林本 鈴太(村岡中2年)、井上 敦(小代中3年)、川端 由貴(香住小PTA)、田野 雅子(兎塚小PTA)、岡本 美春(射添小PTA)、本城 由佳(小代小PTA)、田中 香(村岡中PTA)、今井 鈴代(小代区秋岡)

#### 【作文の部】

小林 蓮(香住小6年)、寺川 愛唯(柴山小5年)、田原 弘高(長井小2年)、井上 真里愛(射添小1年)、田村 佑市郎(小代小2年)、山本 哲也(香住一中3年)、松江 美穂(香住二中3年)、西口 早梨菜(村岡中2年)、小林 優香(小代中2年)

### ◇第32回全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会伯馬地区予選入賞者(敬称略)

金賞▼中村 睦(村岡中1年)、銀賞▼瀬戸 浦 佑奈(香住一中3年)、裏戸 茅子(香住二中3年)、銅賞▼中村 楓(小代中1年)

### 人権講演会



入札に参加を希望する業者の皆さんへ

## 入札参加資格審査申請

## 追加受け付け

●問い合わせ先

北但行政事務組合  
TEL 0796・24・5504

平成25年度に北但行政事務組合の行う入札に参加を希望する業者は、入札参加資格審査申請書(指名願)を提出してください。

なお、すでに平成24年度の入札参加資格者名簿に登録されている業者は、今回あらためて提出する必要はありません(平成24～25年度の2カ年有効なため)。

審査の結果、入札参加資格を有すると認められた業者は同組合の入札参加資格者名簿に登録しますが、これにより必ず入札への参加が約束されるものではありませんのでご注意ください。

### ●受付対象種別

建設工事や測量・建設コンサルタントなどの業務、物品製造・役務の提供など

### ●入札参加資格の有効期限

平成26年3月31日



平成 25 年度

## 放課後児童クラブ入所児童の募集

●問い合わせ先 町教育委員会こども教育課

放課後児童クラブでは、保護者などが仕事で昼間家庭にいない幼稚園児および小学生をお預かりし、遊びや自習などを通して、安心して楽しい時間を送れるようにしています。



### 募集クラブと開設時期

- ・香住幼稚園内「スマイルかすみ」…通年、幼稚園児
- ・香住老人福祉センター内「スマイルかすみ」…通年、小学生
- ・村岡小学校内「ふれあいむらおか」…通年
- ・兎塚小学校内「ふれあいうづか」…通年
- ・射添小学校内「ふれあいいそう」…夏休みのみ

### 対象児童

昼間、家庭に保護者などがいない幼稚園から小学4年生までの児童（障害のある児童は中学3年生まで）

### 募集人数

各クラブ約30人

### 開設日

月～土曜日（祝日、年末年始、お盆は除く）

### 開設時間

幼稚園または小学校の終業時～18:00  
 （土曜日および夏、冬、春休みは8:00～18:00）

### 利用料

児童一人につき月額7,000円  
 ※おやつ代、保険料などは別途必要

### 申し込み方法

町教育委員会こども教育課または香住区中央公民館にある入所申込書に必要事項を記入し、1月31日（木）までに提出してください。

※期限後も申し込みを受け付けますが、入所条件を満たさない場合や定員を超えた場合は、入所をお断りすることがあります。

会議員を2期、大阪府議会議員を1期務めた後、フリーライターに転じ、テレビ番組などに出演。その辛口コメントは「ヤマケン節」と呼ばれ人気を博しました。現在はテレビには出演せず、議員時代から取り組んでいる児童虐待問題や環境問題などについて講演活動を行っておられるほか、議員活動後に知った「掃除」の大切さを踏まえて、20年近くにわたってボランティアで公共施設の掃除を行っておられます。

冒頭、今の子どもたちを取り巻く環境について「カキケケコ」になぞらえて説明。貧富の「格差拡大（カ）」、負けた者を思いやることのできない「競争（キ）」、ものづくりや農林水産業だけでなく、子どもたちが夢や希望を持ってない精神の「空洞化（ク）」、高齢者に対する尊敬の念が薄らいでいる「高齢化（コ）」の5つが子どもたちの健やかな成長にとつて大きな弊害となっていると持論を展開。そして「掃除」にこそ解決の糸口があるとして、きれいになった場所や掃除をする人への「感動・感謝（カ）」、どうすればきれいになるのか、どうして汚れるのかに「気付き（キ）」、掃除をする人の苦勞を自分のこととして考え、汚さないように工夫をする「苦勞・工夫（ク）」、継続して、進んで人の嫌がる掃除を行う「継続・謙虚な気持ち（ケ）」、多くの人が心

を一つにして掃除を行い、物を磨くだけでなく心を磨く「心あわせ・心磨き（ココ）」の5つを忘れないでほしいと訴えました。「人権問題は人間の心が生み出す悲しいこみ」として、気配りや思いやりの心の大切さを語る山本さん。だれにでもできることを丁寧に、ばかにせずに行うことで心を磨いていく必要があるとし、最後に「明るいあいさつ（ア）」は相手を見る出発点、人が見えても見ていなくても「いきいき（イ）」とベストを尽くし、「うきうき（ウ）」といつも「笑顔（エ）」で、すべての人が支え合い生きている「お互いさま（オ）」の「アイウエオ」を大切にしたいと呼び掛けました。

●申請書の受付期間  
 2月12日（火）～3月12日（火）  
 （必着・郵送可）

●申請書の様式など  
 申請書の様式や提出要領は、同組合事務所窓口で配付しているほか、ホームページ（<http://www.hokutan.co.jp>）からも入手できます。

●申請書の提出先  
 〒668-0011  
 豊岡市上陰178番地の1  
 北但行政事務組合 施設整備課



# いきいき通信



●問い合わせ先  
いきいき相談センター (役場福祉課内)  
Tel 0796・36・4004 (直通)

## さいげない見守りの輪をさらに！

～発足から1年間を振り返って～

### 住み慣れた場所で

安心して暮らすために――

平成23年11月のスタートから1年余りが経過した「にこにこ香美ネット」(香美町高齢者等見守りネットワーク)。



地域全体で高齢者を見守る取り組みが徐々に広がりをみせています(ふるさと香美第81号に概要を掲載)。

これまでに、地域や協力事業所の皆さんからの通報によって適切な支援につながった事例もありました。ここで1年間の歩みを「報告します」。

### これまでの通報件数は――

現在までに寄せられた通報は22件で、その通報元と内訳は医療機関が10件、民生委員・民生協力委員が4件、協力事業所が3件、介護サービス事業所が3件、町社会福祉協議会など関係機関が2件。その一例として次のようなものがあります。

――早朝4時ごろ外を歩いていた

(一人暮らしの80歳代女性)

役場職員が家庭訪問を行って安全用タスキの着用を促したほか、親族に福祉サービスの利用を案内。

――自宅の新聞受けに2日分の新聞がたまっていた

(一人暮らしの80歳代男性)

民生委員やヘルパーが自宅内へうづくまっていた本人を発見。救急搬送されて治療を受けた。

### 救急医療情報キットを配布――

昨年3月末までに、福祉・防災マップの要援護者台帳登録者や75歳以上の一人暮らし高齢者など計1586人に、本人の緊急時連絡先や持病などの情報が入った救急医療情報キット(プラスチック製容器)を配付し

ました。また、4月から現在までに75歳を迎えた231人を訪問。キットの配付と要援護者登録手続きをご案内しました。



▲救急医療情報キットシール (冷蔵庫用、実物はカラー)

### 皆さんの「声」を

今後に生かすために――

「にこにこ香美ネット」をさらに充実させようと、協力事業所の皆さんを対象にアンケートを実施しました。多くの貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。ここでその一部をご紹介します。

・第1段階(「にこにこ香美ネット」の組織づくり)はできた。次の段階では「見守る人」を増やすことが必要。

・制度の周知を図るため、各区・自治会の協力を求めているかどうか。

・広報紙や広告などでのPR、各種行事での普及・啓発を行ってはどうか。

また「にこにこ香美ネット」の充実を図るための研修会を企画する場合、

どのようなテーマを希望するか」という設問に対して①倒れた人を発見した時の対応②認知症の知識や対応③地域で高齢者などを支える方法の順で回答が多くみられました。

これを受けて昨年11月30日、役場本庁舎で「倒れた人を発見した時の対応方法」と題して美方広域消防本部から講師を招き、研修会を開催。参加した協力事業所や民生委員の皆さんは講師の説明に熱心に耳を傾けていました。

今後にも「にこにこ香美ネット」への加入推進や制度の周知に取り組んでいきます。皆さんの「支えあいの心」と「優しいまなざし」が、高齢者や一人暮らしの皆さんにとって力強いパートナーとなるようにご理解とご協力をお願いします。



▲昨年11月30日開催の研修会では、参加した皆さんが講師の説明を聞きながらメモをとるなど、真剣に聞き入っている様子でした。



おしえて!

# 防災豆知識

●問い合わせ先  
役場総務課防災安全室

## 地震に備える! 家の周囲の安全を確保しよう

普段、何げなく見ている家の周囲ですが、地震が発生したときには、ベランダや屋根からの落下物、ガラスの破片、ブロック塀の倒壊など多くの危険が潜んでいます。  
こうした危険から身を守るためにも、日ごろから家の周囲をよく点検し、万一の際の被害を最小限にとどめましょう。また必要に応じて耐震診断や耐震補強を行い、安全・安心な住まいを目指しましょう。

- ◇屋根
  - ・屋根にひび割れ、ずれ、はがれ



- ◇ベランダ
  - ・アンテナはしっかりと固定する。
  - ・常に整理整頓する。
  - ・鉢植えなどは落下しないように低い位置に置くか固定する。
- ◇窓ガラス
  - ・飛散防止フィルムを張る。
  - ・強化ガラスに交換する。
- ◇プロパンガス
  - ・鎖でしっかりと固定する。
- ◇ブロック塀・門柱
  - ・ひび割れや傾きがあれば修理する。
  - ・土中にしっかりとした基礎部分がないものや鉄筋が入っていないものは補強する。



# 消費生活相談

賢い消費者になりましょう!

## ～若者にありがちな契約トラブル①～

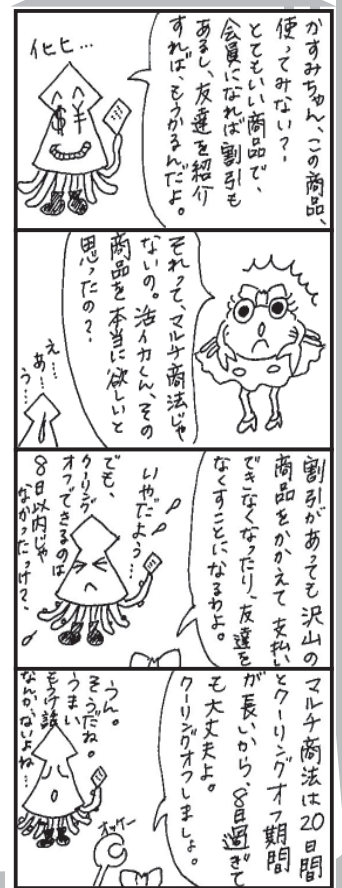
### 【事例】

「新しい会員を加入させて商品を販売すると絶対もうかる」と言われて、ある商品の販売組織に加入した。その際、高額な健康食品を買取った。しかし全然売れないので、脱退して代金を返してほしい。

### 【ひとことアドバイス】

- ◇販売組織の会員となり、自分の周りの人を次々に加入させて商品を販売しマージンを得ようとするマルチ商法です。これは連鎖販売取引といわれ、トラブルが起きやすいことから法律で規制されています。
- ◇会員になっても商品が売れずに在庫を抱えることになるだけでなく、強引な勧誘をして気付かないうちに友人や家族から見放されることもあります。
- ◇訪問販売や電話勧誘販売のクーリングオフ期間は8日間ですが、マルチ商法の場合は20日間です。
- ◇加入時の勧誘に問題があれば、20日を過ぎていても契約解除ができる場合もあります。

## こんなとき、どうする?



### 相談は こちらへ...

役場消費生活相談窓口(町民課内)  
TEL 0796・36・1941 (直通)  
たじま消費者ホットライン  
TEL 0796・23・1999  
※相談無料で秘密は厳守!!

# 文芸かみ

## 小代俳句教室

選者 尾崎龍

野に土管ごろんごろんと冬に入る

吉田まち子

草刈るやコオロギ乳房ぬすみをり

井上捷子

恥らひの雪をかぶりて姫椿

田中富美代

日向ぼこは昨日のことね今日の数珠

井上美千代

小雪舞ふ姑と大根引いていく

中庭正江

卒塔婆の一基おちつく冬木立

選者

※このコーナーでは、香美町文化協会所属の各団体の俳句・短歌を毎月掲載します。

おめでとうございます

## 町内の表彰受賞者

(順不同・敬称略)

### 兵庫県林業賞

雪に強い森づくりの推進と森林環境教育の実践

小代林業研究グループ

### 兵庫県ともしびの賞

俳句の創作、普及推進、後進の育成を通じた地域文化の向上

三宅睦子(香住区浦上)

### 香美町ジオパーク活動賞

香美町商工会青年部

日本の滝百選「猿尾滝」観光ガイドの会

香住井を広める会

特定非営利法人たじま海の学校

### 第14回米・食味分析鑑定コンクール国際大会

総合部門金賞

中村博(村岡区市原)

総合部門特別優秀賞

前田智恵子(村岡区板仕野)

栽培部門水田環境特A特別優秀賞

田中敬二(村岡区板仕野)

### 第9回お米日本一コンテストinしずおか2012

特別最高金賞

田中敬二(村岡区板仕野)



## 豊かな自然に育まれた「但馬牛」の伝統を後世に… 第8回香美町子牛品評会 後期の部

昨年11月12日に美方郡農村総合研修センター(新温泉町歌長)で行われた「第8回香美町子牛品評会 後期の部」(町とJAたじまが主催)。4月1日から6月30日までに生まれた子牛が審査対象で、雄・雌の部には雌牛34頭が、去勢の部には10頭が出品され、全国和牛登録協会の登録審査基準に基づき資質、品位、体格などについて厳正な審査を受けました。

雄・雌の部では福田富夫さん(小代区久須部)の「さちふく」が一等一席を受賞。「牛舎が川沿いにあるので、夏の暑さは気になりませんでした。受賞できてうれしい」と喜びを語ってくれました。

### ◆主な受賞牛

#### ◆雄・雌の部

一等一席「さちふく」

福田富夫(小代区久須部)

同二席「つるみぞ」

上田伸也(村岡区宿)

同三席「ひでよし」

上田伸也(村岡区宿)

同四席「みやよしづる」

中村まゆみ(小代区東垣)

同五席「こつふく12」

淀貴至(香住区丹生地)

#### ◆去勢の部

金賞一席「常丸」

朝倉久子(小代区野間谷)

同二席「光福芳2」

井上哲也(村岡区熊波)

同三席「辰次」

藤原幸恵(小代区神水)

(賞名、畜主名、産地の順 敬称略)

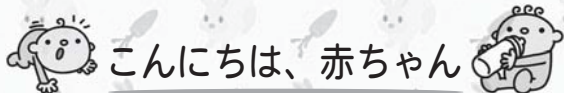


▲【雄・雌の部 一等一席】「さちふく」



▲【去勢の部 金賞】「常丸」





この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月（11/21～12/16）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

### お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月（11/21～12/16）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

## 求人情報

詳細はハローワークにおたずねください

（平成 24 年 12 月 20 日現在、順不同）

●問い合わせ先 ハローワーク香住

TEL 0796・36・0137

＜フルタイム＞				
職種	事業所名	勤務地など	年齢	人数
家電製品設置	㈱K-S IN TRANSPORT	香住区若松	不問	1
電気工事士	㈱北近畿環境開発	香住区間室	不問	1
管理栄養士	村瀬医院	村岡区村岡	不問	1
現場作業	㈱伊藤組	香住区	不問	2
営業			45以下	1
医療事務	日本調剤㈱大阪支店	香住区若松	不問	1
薬剤師			59以下	1
NHK受信料収納	㈱アイ・シー・アール	町内	不問	3
歯科衛生士	やまだ歯科医院	香住区七日市	不問	1
歯科衛生士	西村歯科医院	香住区七日市	不問	1
管工事技術者	㈱西本設備	香住区森	59以下	2
電気技術者			59以下	2
水産加工	㈱駒徳商店	香住区若松	64以下	2
臨時介護	社会福祉法人 みかたこぶしの里	村岡区川会	不問	1
看護師	社会福祉法人 みかたこぶしの里	小代区神水	不問	3
接客		香住区香住	不問	2
交通警備	㈱警備ひゃく但馬営業所	香住区	不問	1
客室（住込）	㈱ワークステーション	香住区浦上	不問	2

＜パートタイム＞						
職種	事業所名	勤務地など	年齢	人数		
配達ほか	㈱宿院商店	香住区下浜	不問	1		
販売		村岡区入江	不問	1		
接客	㈱三吉（かに楽座 甲羅蔵）	香住区浦上	不問	4		
清掃	㈱香住観光公社（ファミリー今子浦）	香住区境	不問	2		
フロント			不問	2		
接客	㈱いわや	香住区浦上	不問	2		
販売	㈱コムリ中四国地区本部	村岡区大糠	不問	4		
販売		香住区香住	不問	4		
薬剤師	日本調剤㈱大阪支店	香住区若松	不問	1		
品出し	㈱トヨタ	ルックパザール	不問	4		
食品製造		3F 香住店	不問	2		
運転員	社会福祉法人 香美町社会福祉協議会	香住区森	不問	2		
接客	㈱三栄	香住区訓谷	不問	1		
接客・調理補助	創作旬料理 みか月	小代区大谷	不問	2		
接客・清掃	㈱いまご荘	香住区境	不問	2		
旅館業	香住観光旅館 丸世井	香住区香住	不問	3		
ホール	㈱ニチレク お宿 ひさや	村岡区大笹	不問	10		
レンタル業務			不問	5		
事務			不問	2		
調理主任			不問	2		
清掃			不問	5		
調理補助			不問	10		
客室			不問	5		
カフェ業務			不問	8		
水産加工			㈱カネサ	香住区境	不問	2
水産加工				香住区下岡	不問	5
水産加工	㈱鎌清商店	香住区七日市	不問	3		
水産加工	㈱駒徳商店	香住区若松	不問	3		
臨時介護	社会福祉法人 みかたこぶしの里	村岡区川会	不問	1		
臨時介護		村岡区村岡	不問	3		
臨時看護	社会福祉法人 みかたこぶしの里	小代区神水	不問	1		
接客		香住区香住	不問	1		

### 編集後記

新年あけましておめでとうございませぬ。▼今年も巳（蛇）年です。ね。「蛇穴を出づ」という言葉、ご存知の方も多いたのでは。春の季語の一つで、地中で冬眠していた蛇が春暖になつて地上に出てくることをいいます。▼長引く景気の低迷雇用不安など私たちが取り巻く状況は厳しいものがありませんが、皆さんと力を合わせて脱出し、よりよい1年にしたいものです。▼皆さんにとって巳（身）も心も温かい年となることをご祈念申し上げますとともに、今年もご指導よろしくお願ひします。（みうら）

写真でつづる  
まちのできごと

# Photo News



▲講師の指導を受けながら寄せ植えを行う参加者



## 季節の花で寄せ植えに挑戦！

香りの花フェスタ2012秋（11月24日、香住文化会館）

季節ごとに美しい姿を見せる花を楽しみながら、花いっぱいのもちづくりを目指そうと毎年行われている「香りの花フェスタ」（同実行委員会主催）。8回目を数える今回は、昨年11月24日に香住文化会館で行われ、花の愛好家約30人が参加しました。

開会式では、前日に行われた寄せ植えコンテストの審査結果を発表。最優秀賞を田中富美代さん（小代区神水）、優秀賞を中島廣子さん（村岡区水上）、亀村喜代美さん（香住区訓谷）、佳作を徳山清子さん（村岡区相田）、板坂久美子さん（村岡区福岡）がそれぞれ受賞し、太田吉春実行委員長から表彰状などが手渡されました。その後、県立淡路景観園芸学校の藤岡成介講師が植物を生かした景観づくりについて講演。「香美町は花の多い地域。彩りを考えて植えればもっと美しい町になる」と草花の配色の重要性について説明。会場では、寄せ植え実習や押し花を使ったストラップ作りなども行われ、愛好家が花との触れ合いを楽しみました。

参加者の一人、田淵悠代さん（村岡区長板）は「色の組み合わせに工夫して季節感のある寄せ植えができた」と語ってくれました。



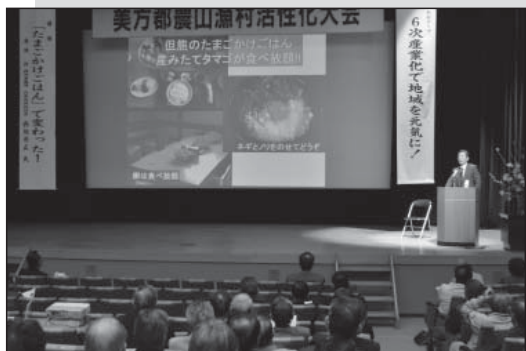
## 地域活性化の起爆剤に6次産業化を！

第17回美方郡農山漁村活性化大会（11月29日、香住区中央公民館）

6次産業化の機運を高めて地域活性化を図ろうと「第17回美方郡農山漁村活性化大会」が昨年11月29日、香住区中央公民館で行われました。この大会は、産業関係団体や行政などで組織する美方郡農業改良普及事業推進協議会が主催して毎年行われているもの。来場した約200人は、大会テーマ「6次産業化で地域を元気に」に沿って行われた講演や事例発表に熱心に耳を傾けて、地域活性化のヒントを探りました。

冒頭、農林水産業の衰退や担い手の高齢化や減少、雇用・就業機会の減少などを打開するために、地域資源の活用や生産（1次・加工（2次）・流通（3次））の一体的な事業展開を行い「もうかる農林水産業」の実現が必要であるとし、そのためには生産・加工・販売を掛け合わせる6次産業化が元気な地域を生み出すきっかけとなるということが説明された後、豊岡市但東町で農業の傍ら卵かけご飯の専門店や農産物直売所を営む株式会社西垣養鶏場の西垣源正代表取締役社長が講演し、これまでの取り組みを紹介。

約1万羽の採卵鶏で卵を生産・販売、5haの田んぼで米を生産する西垣氏。卵や米を単品で売るだけでなく、付加価値をつけようと平成18年に卵かけご飯専門店「但熊」を開業。「おいしいものを安価で提供することも大事だが、お客さんに満足感を持ってもらい『もうけた』と思ってもらうことが大事なので」と強調。その上で「都会に住んでも不平不満は必ず感じる。それならば、今、住んでいる場所に感謝し、生きがいを持って挑戦してみてもいい」と会場に訴えかけました。事例発表では、春來そば生産組合の田中根敏己副代表、株式会社トキワの柴崎一秀代表取締役がそれぞれの取り組みを発表しました。



▲6次産業化のヒントを探る参加者





## 畑の「ルビー」

### 美方大納言小豆を堪能！

美方大納言小豆まつり

(12月2日、村岡ファームガーデン)

風味があり煮崩れしにくいといわれる美方大納言小豆。この特産化とPRを図ろうと昨年12月2日、美方郡内の2会場で「美方大納言小豆まつり」が行われました。この祭りは香美、新温泉両町の生産者や行政、JAたじまなどが組織する美方大納言小豆ブランド推進協議会が企画し、美方郡内2会場で行ったもの。香美町では、村岡ファームガーデンで地元産小豆を使ったぜんざいやぼたもちが振る舞われたほか、ぼたもちの早食い大会や地元産野菜の直売も行われ、多くの人で賑わいました。

ぼたもちの早食い大会には7組14人が参加。2人1組で、口にくわえた長さ約30cmのヘラでぼたもち5個をすくって相手に食べさせ、その早さを競うもので、途中で水分を取ることができません。口の周りにあんを付けながらも、ぼたもちがなかなか飲みこめない参加者の姿に、会場からは大きな笑いが起きていました。優勝したのは澤田富雄さん(姫路市)と道下清人さん(豊岡市)。ペアで、

タイムは1分06秒72。「ぼたもちを何個も口に入れてなかなか飲みこめなかったけど、とてもおいしかった。副賞の但馬牛をもらってまさに『棚からぼたもち』のよう」とうれしそうに語ってくれました。



▲ヘラで器用にぼたもちをすくう子ども



## シーズン中の安全を祈願！

冬山開き安全祈願祭(12月3日、ハチ北高原スキー場)



▲祈願祭では、滑り初めを行う3人もおはらいを受けた

スキーシーズンを前に昨年12月3日、ハチ北高原スキー場で「冬山開き安全祈願祭」が行われ、スキー場や観光・行政関係者など約50人が出席。冬山の安全と十分な降雪、スキー場の盛況を祈願しました。鉢伏山山頂を望む同スキー場野間ゲレンデで行われた神事では、宮司による祝詞奏上や清めの儀式の後に、ハチ北観光協会西村清志理事長など関係者が次々に玉ぐしを奉納。2日前からの降雪で雪化粧をまとったゲレンデでは、シーズン到来を待ちわびたスキーヤーやスノーボーダーによる滑り初めも行われました。

西村理事長は「安全祈願祭の際にゲレンデが白くなることは近年なかった。今年は十分な積雪が期待できるうえ、北近畿豊岡自動車道も八鹿・氷ノ山インターチェンジまで北伸したことで、京阪神からさらなる来場者が見込める。ぜひ多くの人に冬山を楽しんでもらいたい」と期待を込めました。



## ゴンドラ停止を想定し救助訓練！

ゴンドラ救助訓練(12月7日、おじろスキー場)

昨年12月7日、おじろスキー場のゴンドラステーション付近で緊急時を想定した救助訓練が行われました。

標高差約400m、片道約2kmを約7分で結んでいるこのゴンドラは年間約3万人強が利用。訓練は有事の際の対応を確認しようと、毎年冬山シーズン前に行われています。参加したのはおじろ観光協同組合と小代山岳遭難救助隊の約10人。ゴンドラが運行中に途中停止し乗客が取り残された想定で、ロープを使って地上に降ろす手順や連携体制を確認しました。

乗客役の関係者が乗るゴンドラが緊急停止すると、訓練参加者はゴンドラと地上に分かれ、声を掛けながら機敏に対応し、乗客を確実に地上に降ろしていました。

参加者の一人は「この訓練は大変重要なものですが、このような事態が起きないよう安全運行に努めたい」と固く誓っていました。



▲救助方法を確認する訓練参加者

## 役場各課など 主な施設の連絡先

役場本庁舎	36・1111(代表)
総務課	36・1111
財政課	36・1942
企画課	36・1962
税務課	36・1113
会計課	36・4321
町民課	36・1110
消費生活相談	36・1941
健康課	36・1114
福祉課	36・1964
農林水産課	36・0846
観光商工課	36・3355
建設課	36・1961
上下水道課	36・0420
議会事務局	36・1963

村岡地域局 94・0321(代表)  
小代地域局 97・3111(代表)

町教育委員会 94・0101  
香住区中央公民館  
(香住区生涯学習センター)  
36・3764  
村岡区中央公民館  
98・1366  
小代地区公民館  
(小代区地域連携センター)  
97・3966

公立香住病院 36・1166  
公立村岡病院 94・0111

香住文化会館 36・1026  
香住老人福祉センター 36・5008  
村岡老人福祉センター 98・1000  
小代高齢者生活支援センター 97・2202

(すべての施設の市外局番：0796)

## まちのうごき (平成24年12月1日現在)

合計	20,260人 (-26)
男	9,683人 (-4)
女	10,577人 (-22)
世帯数	6,841世帯 (-4)

カッコ内は前月比



◇問い合わせ先 町教育委員会生涯学習課

## ふるさとを誇りを訪ねて 第29回

# 木造帝釈天倚像と 帝釈寺庭園

今年最初にご紹介するのは、ふるさと香美第71号で紹介した町指定文化財「青銅製経筒」のある帝釈寺(香住区下浜)の2つの文化財です。

飛鳥時代の末期、大宝律令(日本で最初に刑法、行政法などを備えた法典)が完成した翌年にあたる大宝2(702)年に道昭上人が開山したといわれる帝釈寺。1300年以上の歴史を持つ由緒正しき古刹(古寺)です。

その本尊として安置されているのが、今回ご紹介する文化財の一つ、県指定文化財「木造帝釈天倚像」です。高さ約1・5m、部材を組み合わせて造られたものではなく、全身が1本のヒノキから彫り出さ



▲木造帝釈天倚像

れ、いすに座った姿をしています。言い伝えによると、十七条憲法の制定や遣隋使の派遣などを行い、仏教を厚く信仰したといわれる聖徳太子が自ら彫ったものとされ、聖徳太子の没後、仏教を排斥しようとする勢力によって難波津(現在の大阪市付近の港)で海に投げ入れられ、帝釈寺付近の海岸に流れ着いたとされています。しかし、この仏像には正安3(1301)年との記載があることから、鎌倉時代後期の作であることが分かっています。

帝釈天は釈迦が悟りを開くことを助け、仏教の守護者とされています。帝釈寺のものは、人間の煩惱を退け、過去・現在・未来を見抜く第3の目が額にあるほか、右手の筆と左手の帳面ですべての生き物の善悪を記すともいわれています。

次の文化財も同じく帝釈寺にある、江戸時代初期の造園といわれる町指定名勝「帝釈寺庭園」です。この庭園は、水を使わず、敷き詰められた白砂や小石を水面に見立てたうえ、大小の自然石を配置して独特の世界観を表現する枯山水の様式がとられています。それに加え、不老不死の仙人が住む蓬莱島に見立てた「礼拝石」や宝船に見立てた「舟形石」が配置されていることから、蓬莱式庭園であることが分かります。

水の無い所に水を見て、無言の石に人々の願いを込め、そして庭園が静かに語りかける自然の美しさに耳を傾けた先人たちが、私たちが忘れていた「何か」が、そこにあるのかもしれませんね。



▲帝釈寺庭園(中央付近の平たい石が礼拝石、その左上が舟形石)